

施策 7-1 都市ブランドの創出

【成果指標の状況】

指標	設定時 (H28)	現状値	目標値 (H38)
徳島市に住み続けたいと思う市民の割合	77% (H27)	89.7%	90%
「地域ブランド調査」の魅力における順位	143 位	143 位	100 位以内
ふるさと納税の寄附金額	1 億円 (見込み)	1.09 億円	5 億円
県外への人口流出数 (年間の転出超過数)	866 人 (H27)	635 人	0 人

【外部評価】

A ・ B ・ C

【重点事業の状況】

事業名、事業概要、事業費 (一般財源)、事業目標	推進工程・目標値			平成 28 年度 実績	進捗 状況	事業の成果・課題	今後の方向性
	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度				
<p>【徳島ひょうたん島水都祭開催補助 (観光課)】</p> <p>市内中心部で活動している NPO 法人や民間企業など様々な団体が構成する「徳島ひょうたん島水都祭実行委員会」が主催し、川とともに発展してきた、水都とくしまの魅力を様々なコンテンツを通じて発信します。</p>	内容の充実 水都祭への 開催補助	内容の充実 水都祭への 開催補助	内容の充実 水都祭への 開催補助	4 万人	A	<p>新町川東公園に約 1,000 個のキャンドルを設置し、幻想的な水辺空間を創出する「キャンドルナイト」のほか、新町川上に設置した 50m のゴザの上を走り抜けるタイムレース「水上ゴザ走り選手権」やカヌー・SUP 体験など、水都・徳島の魅力を体感できるコンテンツを多数実施した。また水辺の花火も人気があり県内外から昨年並みの来場者があった。</p>	<p>目標の達成に向けて、引き続き、実行委員会との連携を図りながら、より多くの人々に水都の魅力を実感できるコンテンツの充実を図るとともに観光客の誘致を目的とした情報発信に取り組む。</p>
<p>H28 決算 (千円) 10,000 (10,000) H29 予算 (千円) 6,500 (6,500)</p> <p>事業目標：徳島ひょうたん島水都祭の参加者数 (現状値：4 万人)</p>	5 万人	5 万人	5 万人				
<p>【LED が魅せるまち・とくしま推進事業 (経済政策課)】</p> <p>これまで整備してきた水と緑の魅力に LED の要素を加えた、新たな魅力を持つ「水都・とくしま」の創造を目指し、LED を活用した LED 光環境整備に取り組むとともに、とくしま LED・デジタルアートフェスティバルを開催します。</p>	(光環境整備) 整備方針の 決定	基本計画策 定に係る調 査	基本計画の 策定	5.9%	C	<p>徳島 LED アートフェスティバル 2016 において、前回は大幅に上回る約 32 万人の来場者が訪れたが、アンケート調査の結果、県外客からの割合が 5.9% であった。</p> <p>県外への広報 PR 活動が十分でなかったことから、28 年度目標値に達することができなかった。</p>	<p>シンボルゾーン等光環境整備事業については、本年度、整備方針を決定のうえ、基本設計を実施する予定であったが、新町西地区再開発事業の見直しに伴う遅延により、基本計画素案関係資料 (イメージ図) が 28 年度末に作成できたところである。</p> <p>今後は、本年度に整備方針を決定するとともに、30 年度に基本計画策定に係る調査を行ったうえで、31 年度に基本計画策定を行う推進工程に見直しを行う。</p> <p>「LED が魅せるまち・とくしま」を推進するため、LED にデジタルアートを融合した新たなイベント「とくしま LED・デジタルアートフェスティバル」として、徳島県と連携して本年度開催する。</p>
<p>H28 決算 (千円) 145,858 (113,996) H29 予算 (千円) 80,000 (0)</p> <p>事業目標：フェスティバルの来場者に占める県外客の人数の割合 (現状値：5.9%)</p>	—	10%	10%				

事業名、事業概要、事業費（一般財源）、事業目標	推進工程・目標値			平成28年度実績	進捗状況	事業の成果・課題	今後の方向性
	平成29年度	平成30年度	平成31年度				
【水都・とくしま魅力発信事業（観光課）】 交流人口の増加による地域の活性化や、市民の愛着度の向上を目指して、阿波おどりや豊かな水辺環境、文化、歴史、特に世界から注目を集めている「阿波藍」など、本市の地域資源の魅力を市内外に発信します。	魅力発信動画製作、PR活動の推進	PR活動の推進	PR活動の推進	143位	B	徳島市シティプロモーションWEBサイト内のコンテンツや、トップページのデザインの修正を図ることで、アクセス数が昨年より約2万件増加した。 また、市民の愛着度向上を目的に、人形浄瑠璃と音楽の共演イベントを水辺で開催し、多くの人々に徳島の地域資源の魅力を再認識してもらうことができた。	見直し
H28 決算(千円) 11,707(11,707) H29 予算(千円) 24,416(12,553) 事業目標：「地域ブランド調査」の魅力度における順位（現状値：143位）	138位	133位	128位				
【「ふるさと納税」パートナー企業パワーアップ事業（企画政策課）】 全国からの寄附に対し、本市ならではの特産品等を取り扱う企業の商品を返礼品として贈呈することで、更なる寄附金の獲得及び本市の情報発信を図ります。	返礼品パートナー企業の拡充	返礼品パートナー企業の拡充	返礼品パートナー企業の拡充	36社	A	28年度は、事業目標を上回る企業を登録できたことで、年間目標寄附金額の1億円についても達成することができた。	継続
H28 決算(千円) 47,767(47,767) H29 予算(千円) 144,243(144,243) 事業目標：返礼品パートナー企業数（現状値：35社）	40社	45社	50社				

施策 7-2 計画的な都市づくりの推進

【成果指標の状況】

指標	設定時 (H28)	現状値	目標値 (H38)
中心市街地が便利で活気にあふれていると感じる市民の割合	(未計測)	17.1%	50%
新町、内町地区の住民基本台帳人口の年間増減率(1/1 基準)	0.29%の減少	0.11%の減少 (H29.6.1 時点)	増加に転じる
中心商店街の歩行者通行量 (平日と休日の平均値)	16,243 人	16,243 人 (H28)	増加に転じる
市バスの1日平均乗車人員 (交通局路線・市委託路線)	10,659 人 (H26)	10,530 人 (H27)	増加に転じる
四国横断自動車道鳴門 JCT～(仮称)阿南 IC 間の整備率	32%	32% (H29.3.31 時点)	55%

【外部評価】

A ・ B ・ C

【重点事業の状況】

事業名、事業概要、事業費 (一般財源)、事業目標	推進工程・目標値			平成 28 年度 実績	進捗 状況	事業の成果・課題	今後の方向性
	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度				
<p>【ひょうたん島川の駅ネットワーク構想の推進 (まちづくり推進課)】</p> <p>本市の地域資源である「ひょうたん島」を中心とした水を生かしたまちづくりを進めるために、ひょうたん島をとりまく川 (新町川・助任川) や周辺の川の各所に船が着き、人が乗り降りすることができる栈橋などの機能を持った「川の駅」や「川の停留所」を整備し、中心部への誘導、また移動手段としての取組を進めることで、人の流れを生み出し、にぎわいにつなげることを目指します。</p>	(助任栈橋)協議等 (文化公園栈橋)検討 (南末広栈橋)協議・検討	整備	計画	0箇所	A	26 年度に策定した「ひょうたん島川の駅ネットワーク構想」に掲げた川の駅の必要性や機能、新たな川の駅の候補地やその利活用等について、アンケートやヒアリング調査等により市民からの意見を聞き、平成 29 年 3 月に構想の見直しを行った。	継続 構想に掲げた、川の駅や川の停留所について、関係機関や関係団体等の意見を聞きながら、整備に向けた検討を行う。 また、新たな候補地として選定した南末広栈橋については、有効性を検証するための社会実験の実施に向けた検討を行う。
<p>H28 決算(千円) 0(0) H29 予算(千円) 810(810)</p> <p>事業目標：ひょうたん島川の駅ネットワーク構想に掲げる川の駅・川の停留所の新規整備数 (現状値：0 箇所)</p>	0箇所	1箇所	0箇所	0箇所			
<p>【新町西地区の新たなまちづくり (まちづくり推進課)】</p> <p>本市のシンボルゾーンに位置する新町西地区の再生やにぎわいづくりは、市の将来を見据えて喫緊の課題であることから、平成 28 年 11 月に策定した 2 つの試案 (交流人口の拡大を目指す案・定住人口の拡大を目指す案) について、事業の実現性等の検討を進めます。</p>	・試案の実現性や民間の参加手法等について検討	・関係者等を交えた新たなまちづくり案の検討 ・水都とくしまシンボル施設の検討	・関係者等を交えた新たなまちづくり案の検討 ・水都とくしまシンボル施設の検討	0箇所	B	民間の力を活用した整備に向けての事業手法や他都市の民間事業事例の情報収集、事業費の概算額の算定などの作業に着手した。	継続 引き続き、民間事業事例の情報収集や事業手法等の調査・研究を行い、事業の実現可能性について、検討を進める。また、将来的には、地域の人をはじめ、市民や市民団体、民間事業者等と検討を行い、計画の熟度を高めていくこととする。
<p>H28 決算(千円) 0(0) H29 予算(千円) 895(895)</p> <p>事業目標：新たなまちづくり案の検討 (現状値：検討)</p>	検討	検討	検討	検討			
<p>【鉄道高架事業関連まちづくり計画の策定 (まちづくり推進課)】</p> <p>鉄道高架に伴い、本市が主体となる徳島駅周辺のまちづくりについて、にぎわいの創出や都市の魅力づくりの観点から、徳島駅前地区の活性化に向けた、新たなまちづくり計画を策定します。</p>	・まちづくり計画策定検討会の開催 ・計画(素案)の策定	・パブリックコメント手続き ・計画(案)の策定			A	県及び JR 四国と協議し、29 年度から、現行の徳島駅周辺まちづくり計画(案)を見直し、新たなまちづくり計画の策定に取り組むこととした。また、策定にあたっては、本市が新たに市民会議を設置し、広く市民の意見を聞くこととした。	継続 29 年度末までに計画(素案)を策定し、その後にパブリックコメント手続きを経て、平成 30 年 6 月の計画策定・公表を目指す。
<p>H28 決算(千円) 93(93) H29 予算(千円) 22,980(11,978)</p> <p>事業目標：計画の策定 (現状値：未策定)</p>	素案策定	計画策定		協議を実施			

事業名、事業概要、事業費（一般財源）、事業目標	推進工程・目標値			平成 28 年度 実績	進捗 状況	事業の成果・課題	今後の方向性
	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度				
【立地適正化計画の策定（まちづくり推進課）】 集約型都市構造の形成に向け、都市再生特別措置法に基づく立地適正化計画を策定します。	・課題の抽出及びまちづくり方針の検討	集約型都市構造の形成に向けた計画の策定			A	国や先進地の情報収集等を行い、立地適正化計画の策定に係る調査・研究を行った。	継続 29 年度は、まちづくりの方針を検討するために必要な基礎情報の収集、課題の抽出等を行い、30 年度には、地域住民及び関係団体との意見交換等を行いながら、集約型都市構造の形成に向けた立地適正化計画の策定を目指す。
H28 決算(千円) 0(0) H29 予算(千円) 15,533(8,033) 事業目標：計画の策定（現状値：未策定）	計画検討	計画策定		研究			
【地域公共交通の活性化（地域交通課・交通局）】 市バス路線の運行業務の民間委託の推進と、利用者ニーズに対応した運行内容の見直し等を検討し、市バスの利便性向上による利用促進を図るとともに、市内における公共交通不便地域の減少に向けた取組を推進します。	・市バス路線運行業務の民間委託の推進 ・公共交通不便地域の改善策の検討	・市バス路線運行業務の民間委託の推進 ・公共交通不便地域の改善策の検討	・市バス路線運行業務の民間委託の推進 ・公共交通不便地域の改善策の検討		B	平成 28 年 4 月の市原・島田石橋線運行業務の民間委託開始により、交通局から市長部局への移行・再編路線数は 13 路線となった。交通局運行路線 6 路線を含めた市バス 19 路線の利用者数は、均一区間フリー定期券やスクラッチ式 1 日乗車券の導入など、利用者サービスの向上策の効果もあり、おおむね堅調に推移している。 また、公共交通不便地域の減少に向け、地域住民の意向・意見を聴取するための地域説明会を 3 地区で開催した。	継続 30 年度に新たに 1 路線を交通局から市長部局へ移行するとともに、新たなニーズに対応した路線の再編や、利用者サービスの向上などを通じて、バス利用者の増加を図り、公共交通の維持・確保及び改善・充実に努めていく。 公共交通不便地域の減少に向けた地域説明会（28 年度開催）を踏まえ、1 地区において地域住民が主体となって運営する新たな移動手段の導入について検討していく。
H28 決算(千円) 879,397(192,603) H29 予算(千円) 890,324(177,867) 事業目標：交通局から市長部局への移行・再編路線数（累計） （現状値：13 路線）	13 路線	14 路線	14 路線	13 路線			
【四国横断自動車道の整備促進（広域道整備課）】 四国横断自動車道徳島 JCT 以南の整備促進のため、川内地区の側道整備を行います。	四国横断自動車道の側道整備	四国横断自動車道の側道整備	四国横断自動車道の側道整備		—	(未着手)	継続 目標の達成に向けて、引き続き川内地区の側道整備に取り組みます。
H28 決算(千円) - H29 予算(千円) 64,500(1,525) 事業目標：四国横断自動車道側道 [(仮称) 徳島 JCT～(仮称) 徳島東 IC 間] 整備率（現状値：0%）	10%	50%	100%	(未着手)			

施策 7-3 観光・交流の促進

【成果指標の状況】

指標	設定時	現状値	目標値 (H38)
観光客に対しておもてなしをしたいと思う市民の割合	(未計測)	58.6%	70%
観光客入り込み数	215 万人 (H27)	214.6 万人	240 万人
阿波おどり会館・ロープウェイの利用者数	32 万人 (H27)	34.1 万人	40 万人
宿泊者数	63 万人 (H27)	76.5 万人	70 万人

【外部評価】

A ・ B ・ C

【重点事業の状況】

事業名、事業概要、事業費（一般財源）、事業目標	推進工程・目標値			平成 28 年度 実績	進捗 状況	事業の成果・課題	今後の方向性
	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度				
<p>【阿波おどり会館の魅力向上（観光課）】</p> <p>午前中の阿波おどり実演の実施やミュージアムの展示内容のリニューアルに向けた検討及び外国人も利用しやすいよう、さらなる阿波おどり会館の魅力向上に向けた取組を進めます。</p>	午前中の阿波おどり実演とミュージアムの展示内容の検討・通訳の配置	午前中の阿波おどり実演とミュージアムの展示内容のリニューアル	午前中の阿波おどり実演とミュージアムの展示内容のリニューアル	15.1 万人	A	指定管理者制度の導入による多様なサービス向上への取り組みなどにより、阿波おどり会館の魅力が向上したことで、入館者数が前年比で約 8 千人増加し、28 年度目標数を大きく上回る実績となった。	継続 本市の観光の中核施設としての魅力をさらに高めるため、29 年度から午前中の阿波おどり実演を開始するなど、様々な取り組みを積極的に推進し、さらに多くの入館者が訪れる施設づくりを進める。
H28 決算(千円) 158,884 (158,884) H29 予算(千円) 154,914 (154,914)							
事業目標：阿波おどり会館の利用者数（現状値 [H27]）：14.3 万人	14.9 万人	15.2 万人	15.5 万人				
<p>【徳島東部地域 DMO の設立（観光課）】</p> <p>地域と協働しながら観光地づくりなどの観光振興全般にわたる業務を担う DMO (Destination Management Organization) を官民一体となって設立します。</p>	DMO 設立に向けた観光・地域情報等の調査・分析等	DMO 設立・観光振興事業の推進	観光振興事業の推進	214.6 万人	A	本市の観光客入り込み数の 6 割を占める阿波おどりの入り込み数が前年同数にとどまったことなどにより、通年では若干の減少となった。 今後は、阿波おどりのさらなる魅力向上だけでなく、本市と周辺地域の持つ多様な地域資源の商品化や効果的な情報発信などにより、通年にわたり観光客に選ばれ訪れてもらえる広域的な観光地域づくりが必要である。	継続 多様な観光ニーズに対応するため、徳島東部地域 DMO による広域的な観光地域づくりを積極的に進めていくことにより、効果的かつ効率的に観光客入り込み数を増加させていく。
H28 決算(千円) 0 (0) H29 予算(千円) 6,000 (3,000)							
事業目標：観光客入り込み数（現状値 [H27]）：215 万人	222 万人	226 万人	230 万人				
<p>【訪日外国人旅行者への対応（観光課）】</p> <p>DMO を通じて、世界に向けた本市の魅力発信を強化するとともに、県などと連携して海外での観光 PR を実施することにより、外国人旅行者の誘客を図ります。 また、本市を訪れた外国人旅行者が快適に旅行・観光ができる環境を整備するため、関係機関と連携して観光施設等の案内表示や観光パンフレット等の多言語化を推進していきます。</p>	外国人旅行者の誘客と観光施設等の多言語化に向けた取組の推進	外国人旅行者の誘客と観光施設等の多言語化に向けた取組の推進	外国人旅行者の誘客と観光施設等の多言語化に向けた取組の推進	2.8 万人	A	インターネットを活用した外国人観光客への情報発信や観光パンフレットの多言語化などにより、外国人観光客数（宿泊者数）は前年比で大幅に増加している。 今後もさらに多くの外国人観光客に訪問してもらうため、ソフト・ハード両面で、様々な取り組みを展開していく必要がある。	継続 DMO を中心とした外国人への効果的かつ効率的な魅力発信の強化や、県などと連携しながら海外での観光 PR を実施していくとともに、阿波おどり会館をはじめとする観光施設の案内表示の改良や観光パンフレットの多言語化等を推進する。
H28 決算(千円) 2,111 (2,111) H29 予算(千円) 8,082 (5,082)							
事業目標：外国人宿泊者数（現状値 [H27]）：1.8 万人	2.2 万人	2.4 万人	2.6 万人				

事業名、事業概要、事業費（一般財源）、事業目標	推進工程・目標値			平成 28 年度 実績	進捗 状況	事業の成果・課題	今後の方向性
	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度				
【眉山山頂の魅力アップ（観光課）】 本市のシンボルである眉山山頂の魅力をさらに向上するため、イベントの開催などソフト事業の充実を中心に魅力アップを図ります。	魅力アップ に向けた取 組の推進	魅力アップ に向けた取 組の推進	魅力アップ に向けた取 組の推進	/	A	眉山山頂での多様なイベントの実施などにより、利用者は大幅に増加し、前年比 1.3 万人の増加となった。 今後もさらに利用者数を増やしていくため、さらに眉山山頂の魅力を向上していく必要がある。	継続 「眉山魅力アップ計画」に基づき、県などの関係機関やロープウェイ指定管理者などと十分に連携しながら、眉山山頂での各種のイベントの充実など、ソフト面の魅力向上を図るとともに、眉山山頂展望休憩施設の活用などにより、ハード面での魅力アップも推進する。
H28 決算(千円) 0(0) H29 予算(千円) 8,000(2,400)							
事業目標：ロープウェイ利用者数（現状値[H27]：17.7万人）	18.4万人	18.8万人	19.2万人				
【コンベンション誘致支援事業（観光課）】 コンベンション開催にあたって、その開催経費の一部を補助することで誘致を促進します。	コンベンシ ョン誘致支 援	コンベンシ ョン誘致支 援	コンベンシ ョン誘致支 援	/	A	県（県観光協会）によるコンベンション誘致を支援し、大規模かつ多数のコンベンションが誘致できたことなどにより、宿泊者数は、前年度比で大幅に増加した。 今後も県のコンベンション誘致に対して、積極的な支援をすることにより、さらなる宿泊者数の増加を図る。	継続 コンベンション誘致の増加は、宿泊者数の増加に直結することから、引き続き、積極的な支援を行っていく。
H28 決算(千円) 16,298(16,298) H29 予算(千円) 18,415(18,415)							
事業目標：宿泊者数（現状値[H27]：63.4万人）	64.8万人	65.5万人	66.2万人				

施策 7-4 文化財の保存と活用

【成果指標の状況】

指標	設定時 (H28)	現状値	目標値 (H38)
地域の歴史や伝統が継承されていると感じる市民の割合	45% (H27)	56.6%	60%
文化財を活かしたまちづくりの取組件数	0件	0件	5件

【外部評価】

A ・ B ・ C

【重点事業の状況】

事業名、事業概要、事業費（一般財源）、事業目標	推進工程・目標値			平成28年度実績	進捗状況	事業の成果・課題	今後の方向性
	平成29年度	平成30年度	平成31年度				
【徳島藩主蜂須賀家墓所の保存と活用（社会教育課）】 史跡徳島藩主蜂須賀家墓所の整備を実施し、地域住民との連携協力による保存・活用を進めます。	史跡整備	史跡整備	史跡整備	/	B	徳島藩主蜂須賀家万年山墓所の整備を実施、併せて、地域住民を対象とした整備状況の現地説明会を行い、史跡に対する理解と関心度が高まり目標値の住民参加を得た。	継続 目標の達成に向けて、引き続き蜂須賀家墓所の整備に取り組み、地域住民をはじめ市民に情報提供の機会を設けることにより、新たな住民参加を促し保存活用体制の確立を図る。
H28 決算(千円) 9,984 (2,499) H29 予算(千円) 10,270 (2,568)							
事業目標：保存活用体制確立のための組織活動への地域住民の参加者数（現状値：40人）	50人	120人	200人				
【史跡渋野丸山古墳の保存と活用（社会教育課）】 史跡の公有化を図るとともに保存整備計画を策定し、計画に基づき整備事業を行い、地域住民との連携による活用を推進し地域の特性を活かしたまちづくりを進めます。	史跡公有地化と発掘調査の実施	発掘調査の実施	整備工事	/	B	28年度に予定していた箇所を公有化した。整備基本計画に反映させるための発掘調査を行い、古墳に関する新たな知見を得た。発掘調査現地説明会を通じて地域住民に情報提供を行い、渋野丸山古墳に対する関心度を高め28年度目標値の住民参加を得た。	継続 史跡渋野丸山古墳保存整備基本計画案を作成し、市民参加基本条例に基づきパブリックコメントを経て策定する。引き続き、史跡指定箇所の公有化に取り組み、発掘調査を実施する。
H28 決算(千円) 14,165 (3,572) H29 予算(千円) 34,415 (6,295)							
事業目標：保存活用体制確立のための組織活動への地域住民の参加者数（現状値：5人）	10人	15人	30人				
【重要文化財三河家住宅の保存と活用（社会教育課）】 重要文化財三河家住宅保存活用計画に基づく保存修理を実施し、重要文化財建造物の価値と魅力を活かし、地域のまちづくり、にぎわいづくりと連携し人々に親しまれる公開・活用を目指します。	基本設計	基本設計	修理工事	/	B	重要文化財三河家住宅保存活用計画を策定し、27年度から2カ年継続で実施した耐震診断事業を完了した。	継続 重要文化財三河家住宅の保存・活用のため、29年度・30年度において保存修理工事に向けての基本設計を行い、31年度から工事を実施する。
H28 決算(千円) 22,896 (11,448) H29 予算(千円) 10,000 (10,000)							
事業目標：修理工事の進捗状況（現状値：0%）	0%	0%	10%				

事業名、事業概要、事業費（一般財源）、事業目標	推進工程・目標値			平成 28 年度 実績	進捗 状況	事業の成果・課題	今後の方向性
	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度				
【一宮城跡国史跡推進事業（社会教育課）】 県内最大規模の中世山城である一宮城を国史跡に推進するための調査事業を実施します。国史跡を核に地域住民との連携による活用を推進し、地域の特性を活かしたまちづくりを進めます。	発掘調査	発掘調査	発掘調査	/	-	(未着手)	継続 一宮城跡の国史跡指定を目指し、存立時期の解明や城跡の範囲・内容確認のための発掘調査の年次計画を立案し、それに基づいて発掘調査を行っていく。
H28 決算(千円) 0(0) H29 予算(千円) 1,000 (250) 事業目標：保存活用体制確立のための組織活動への地域住民の参加者数 (現状値：45人)	50人	75人	100人				
【徳島市歴史文化基本構想策定と保存活用事業（社会教育課）】 文化財保護施策のマスタープランとして策定し、構想に基づき長期的かつ計画的に社会全体で文化財を適切に保存・継承する取組を行います。	構想検討	構想検討	構想策定	/	-	(未着手)	継続 徳島市所在の文化財について、基礎調査を行うと同時に策定委員会、ワークショップを開催し、31年度の策定を目指す。
H28 決算(千円) 0(0) H29 予算(千円) 3,000(0) 事業目標：基本構想の策定	検討	検討	策定完了				

施策 7-5 やさしい都市空間の整備

【成果指標の状況】

指標	設定時 (H28)	現状値	目標値 (H38)
まちなかに緑や水辺が豊富であると感じる市民の割合	70% (H27)	82.8%	80%
街並みと自然が調和していると感じる市民の割合	(未計測)	65.6%	80%
パークアドプト事業と花と緑のまちづくり事業への参加団体数	69 団体	53 団体 (H29.5.31 時点)	100 団体
施設整備完了した街区公園数	5 公園	10 公園 (H29.5.31 時点)	98 公園
ユニバーサルデザイン整備基準の適合証交付件数 (累計)	42 件	43 件 (H29.5.31 時点)	82 件

【外部評価】

A ・ B ・ C

【重点事業の状況】

事業名、事業概要、事業費 (一般財源)、事業目標	推進工程・目標値			平成 28 年度 実績	進捗 状況	事業の成果・課題	今後の方向性
	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度				
【パークアドプト事業及び花と緑のまちづくり事業の実施 (公園緑地課)】 公園の美化意識、愛護心の啓発及び、都市緑化の推進啓発を他事業とも連携しながら効果的に図ります。	事業参加団体の募集	事業参加団体の募集	事業参加団体の募集	/	A	参加団体の高齢化が進んでおり、団体自体の存続が課題である。また、参加団体の新規参入数が鈍化している。	継続
H28 決算(千円) 5,410(739) H29 予算(千円) 4,631(0)							
事業目標：参加団体数 (現状値：69 団体)	72 団体	75 団体	78 団体				
【市民に身近な公園の施設整備 (公園緑地課)】 市民に身近な「街区公園」が利用者に親しまれ、安全安心な利用が促進されるよう計画的に改修を行っていきます。	公園施設の点検整備	公園施設の点検整備	公園施設の点検整備	/	A	計画に基づき事業を進めるための、国からの財源の確保が課題である。	継続
H28 決算(千円) 44,917(19,174) H29 予算(千円) 145,813(24,613)							
事業目標：施設整備完了した街区公園数 (現状値：5 公園)	15 公園	25 公園	35 公園				
【とくしま動物園リニューアル事業 (とくしま動物園)】 「とくしま動物園管理運営計画」に基づき平成 27 年度から平成 36 年度までの 10 年間で老朽化した獣舎や管理事務所等の改修と集客力を高めるための園路整備などを行います。	サバンナエリアの実施設設計	工事着手 平成 32 年度までの 3 年工事	2 年目	/	A	サバンナ区のリニューアル化における設計、また、フライングケージ内のタワーの老朽化による設計、モンキープロムナード園路改修及び上屋設置の設計を行った。	継続
H28 決算(千円) 3,844(1,044) H29 予算(千円) 52,856(5,356)							
事業目標：年間入園者数 (現状値：約 23 万人)	26 万人	26 万人	26 万人				

26 年度に策定した管理運営計画に則り、現在サバンナ区のリニューアル化に向けた設計を行っているところである。サバンナ区は来園者の間でも非常に人気の高いエリアであることから、完成後は大幅な来園者の増加が期待できる。

事業名、事業概要、事業費（一般財源）、事業目標	推進工程・目標値			平成 28 年度 実績	進捗 状況	事業の成果・課題	今後の方向性
	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度				
【景観形成の推進（都市政策課）】 徳島市景観まちづくり条例等に基づく指導、勧告の他、都市デザイン委員会や景観まちづくりセミナー、街づくりデザイン賞の開催等により、吉野川や新町川、眉山や城山など自然と調和した水都である本市の良好な景観の保全、創造を進めます。	条例等に基づく指導、景観まちづくりセミナー、街づくりデザイン賞の開催	条例等に基づく指導、景観まちづくりセミナーの開催、街づくりデザイン賞のPR	条例等に基づく指導、景観まちづくりセミナーの開催、街づくりデザイン賞のPR	/	A	徳島市景観まちづくり条例等に基づく一定規模以上の建築行為等を対象に景観形成基準との適合性について審査指導を行うとともに、景観まちづくりセミナーを開催した。	継続 良好な景観形成を推進するため、引き続き、徳島市景観まちづくり条例等に基づく指導等の他、都市デザイン委員会や景観まちづくりセミナー、街づくりデザイン賞を実施する。
H28 決算(千円) 117(117) H29 予算(千円) 1,175(1,175) 事業目標：街づくりデザイン賞（3年毎に開催）の応募件数 （現状値[H26]：77件）	100件	—	—				
【条例に基づく事前協議による指導・助言（都市政策課）】 徳島県ユニバーサルデザインによるまちづくりの推進に関する条例に基づく事前協議時における指導等により、条例の求める整備基準に適合する建築物の増を図ります。	事前協議の実施	事前協議の実施	事前協議の実施	/	A	事前協議時の事業者や市民の方の条例への理解を深めていただくための指導・助言に努めることにより、条例の求める整備基準に適合した建築物を増した。	継続 目標の達成に向けて、引き続き事前協議時における指導・助言に努め、一つでも多くの整備基準に適合した建築物の普及に取り組む。
H28 決算(千円) 9(9) H29 予算(千円) 215(215) 事業目標：ユニバーサルデザイン整備基準の適合証交付件数（累計） （現状値：42件）	46件	50件	54件				

施策 8-1 農林水産業の振興

【成果指標の状況】

指標	設定時 (H28)	現状値	目標値 (H38)
地元産農林水産物が身近に流通しており、入手し易いと感じる市民の割合	(未計測)	77.9%	90%
認定農業者数	171 経営体	202 経営体	210 経営体
農産物等販売金額 (JA出荷分)	88 億円 (H27)	87 億円	90 億円
農地施設 (農業用排水路・農道) の年間整備延長	1,500m	2,021m	1,500m
鳥獣侵入防止柵の設置延長 (累計)	59.8 km	74.6km	75 km

【外部評価】

A ・ B ・ C

【重点事業の状況】

事業名、事業概要、事業費 (一般財源)、事業目標	推進工程・目標値			平成 28 年度 実績	進捗 状況	事業の成果・課題	今後の方向性
	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度				
【新規就農者経営力向上支援事業 (農林水産課)】 平成 28 年度に若手農家のネットワークを構築し、農業者の所得向上や雇用拡大を通じて次世代の担い手を確保するために必要な事項を検討・実証することを目的とした徳島市経営力向上検討協議会を設立しました。 今後は、協議会の自律的な活動を支援し、協議会と連携しながら新規就農者の定着・所得向上等について検討します。	協議会の運営方針の決定及び意見の集約化	課題を発見し、具体的な対応策を検討	検討結果の実証を行い、検討→実証→再検討のサイクル化	1 回	A	設立総会を開催するとともに、記念講演会を実施した。講師とのコネクションも生まれ、産地商談会実施が予定されるなど、有意義な人脈形成が成されている。 また、本協議会の設立を契機に生産団体 (7 人) が組織され、20a で実験的に食藍の栽培を実践している。	藍の生産は確実に成果がでている。今後も協議会の開催を通じて、所得向上につながる高収益作物の導入を推進する。
H28 決算 (千円) 194 (194) H29 予算 (千円) 194 (194)							
事業目標：協議会の開催回数 (現状値：1 回)	3 回	5 回	7 回				
【都市農業の支援 (農林水産課)】 国の「都市農業振興基本計画」を基本とし、地方計画の策定について検討します。	計画策定の前提となる調査・分析	計画の詳細検討	計画策定	(未着手)	B	国との意見交換会において、地方計画の内容、今後の法改正の動向等について確認を行った。	目標の達成に向けて、引き続き国等の動向を確認しつつ、本市の実情に応じた計画が策定できるよう、調査・検討を続ける。
H28 決算 (千円) - H29 予算 (千円) 38 (38)							
事業目標：地方計画の策定	調査・分析	検討	策定完了				
【地域振興施設整備・開設準備事業 (農林水産課・観光課・経済政策課)】 国府町に整備予定の「道の駅」では、地元で生産された新鮮で良質な農産物等を販売する予定であり、 ① 6次産業化やオリジナル商品の開発による農業者等の所得向上 ② 地産地消の推進 ③ 生産者と都市住民との交流の場、にぎわいの創出に資する施設を目指します。 そのために、地域の農業者をはじめとする住民や団体と連携しながら、運営体制の整備を推進します。	・ゾーニング等も含めた運営体制の整備 ・目玉商品や特産物の研究、開発を支援	・運営体制の整備 ・目玉商品や特産物の研究、開発を支援	・運営体制の整備 ・目玉商品や特産物の研究、開発を支援	(右に記載のとおり)	B	最適な事業計画とするための検討を行い、施設の配置・規模及び管理運営形態やスケジュール等の一部見直しを行った。	目標の達成に向けて、引き続き最適な管理運営体制や施設配置計画等の検討、生産者の確保・調整や特産品等の調査研究などに取組み、開設に向けた準備を進める。
H28 決算 (千円) 0 (0) H29 予算 (千円) 5,000 (5,000)							
事業目標：地域振興施設及び管理運営体制の整備	整備推進	整備推進	整備推進				

事業名、事業概要、事業費（一般財源）、事業目標	推進工程・目標値			平成 28 年度 実績	進捗 状況	事業の成果・課題	今後の方向性
	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度				
【とくしま食材ブランド化推進事業（農林水産課）】 徳島市産農林水産物の価値や魅力を情報発信し、知名度や信頼性を高めてブランド化を推進するPR活動を行い、首都圏等大規模市場での販路拡大を図ります。	知名度向上のためのPR活動の推進	知名度向上のためのPR活動の推進	知名度向上のためのPR活動の推進		C	WEBやSNS等での発信力のある料理人や店舗を活用することにより、従来手法より多くの方に徳島市産農林水産物の価値や魅力を発信することができた。 しかしながら、取扱店舗等の増加には結びつかなかったことから、28年度目標値を達成することができなかった。	継続 目標の達成に向けて、引き続き首都圏等大規模市場での発信力のある料理人や店舗等を活用し認知度向上に取り組むとともに、広報ツールの充実、関係機関との連携等、あらゆる発信手法の検討を実施し、取扱店舗数の増加を図る。
H28 決算(千円) 4,954(2) H29 予算(千円) 5,823(2,911)							
事業目標：徳島市産食材取扱い認定店舗数（現状値：0店舗）	5店舗	10店舗	20店舗	2店舗			
【健やか新鮮ブランド産地づくり事業（農林水産課）】 国・県の補助事業等を活用して、農作業の省力化・低コスト化や高品質化を行い、経営の安定を図るとともに、農産物のブランド化及び産地の強化を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> 要望調査 協議 事業実施 	<ul style="list-style-type: none"> 要望調査 協議 事業実施 	<ul style="list-style-type: none"> 要望調査 協議 事業実施 		A	国・県の補助事業を活用してブロッコリーの苗床ハウスの建設や定植機の導入、また、農産物の品質確保のため、農産物直売所に冷房設備を設置した。それにより、新規参入者の拡大や農作業の省力化を図るとともに、新鮮な農産物を安定的に供給することができた。	継続 目標に達成に向けて、引き続きJA徳島市や県農業支援センター等と連携しながら、補助事業等の活用によりブランド化及び産地強化の推進を図る。
H28 決算(千円) 13,357(2,009) H29 予算(千円) 5,940(820)							
事業目標：産地の強化・育成に係る事業数（現状値：3事業）	3事業	3事業	3事業	3事業			
【地産地消推進事業（農林水産課）】 地元産農林水産物の良さや魅力をPRし、地産地消を推進するとともに、地元産食材の利用拡大を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> とくしま食材フェアの開催 とくしまIPPIN店の拡大 	<ul style="list-style-type: none"> とくしま食材フェアの開催 とくしまIPPIN店の拡大 	<ul style="list-style-type: none"> とくしま食材フェアの開催 とくしまIPPIN店の拡大 		B	とくしま食材フェアの開催及びとくしまIPPIN店を新たに2店舗認定することで、地元産食材の利用拡大を図った。 しかし、とくしまIPPIN店は閉店店舗があったことから28年度目標値を達成することができなかった。	見直し 29年度において、新たな仕掛けとしてとくしまIPPIN店ビンゴゲームを実施し、とくしまIPPIN店への来店者数の増加及び認知度の向上を図るとともに、とくしま食材フェアの周知に繋げることにした。
H28 決算(千円) 4,524(142) H29 予算(千円) 4,524(2,258)							
事業目標：とくしまIPPIN店認定数（現状値：202店舗）	204店舗	207店舗	210店舗	201店舗			
【鳥獣被害対策等事業（農林水産課）】 有害鳥獣の捕獲や誘因物除去などの環境整備に加え、効果的な被害防除（侵入防止柵の設置）の実施により、鳥獣被害の防止に取り組めます。	重点地区での周知活動	重点地区での周知活動	重点地区での周知活動		A	侵入防止柵設置予定地区に対して、被害防除の具体的な方策、地区住民の一体的な協力体制の必要性、侵入防止柵の適切な維持管理と効果的な運用方法等についての説明会を行った結果、被害の大幅な減少が見られた。	継続 侵入防止柵の設置地区以外の地区では未だ被害が出ている状況であり、設置要望のある地区に対して引き続き相談、説明会等を開催するとともに、効果的な被害防除に資するよう適切な事業費の配分、侵入防止柵の設置地区、設置箇所の決定を行う。
H28 決算(千円) 4,403(2,638) H29 予算(千円) 5,538(3,702)							
事業目標：説明会の開催地区数（現状値：3地区）	5地区	6地区	7地区	8地区			
【農地施設の基盤整備事業（耕地課）】 農地施設（農業用排水路・農道）の基盤整備を行い、農業の振興に努めます。	農業用排水路・農道の整備	農業用排水路・農道の整備	農業用排水路・農道の整備		A	計画設計の見直しや、補助事業の活用等により、コストを縮減した効率的な整備を行った結果、目標を達成することができた。	継続 今後も、引き続き、農地施設（農業用排水路、農道）の年間整備延長を維持することで、営農の合理化、農業収益の向上、農村環境の保全、農村の定住化を図り、農業の振興に努める。
H28 決算(千円) 451,288(98,588) H29 予算(千円) 338,650(77,300)							
事業目標：農地施設（農業用排水路、農道）の年間整備延長（現状値：1,500m）	1,500m	1,500m	1,500m	2,021m			

施策 8-2 地域産業の振興

【成果指標の状況】

指標	設定時	現状値	目標値 (H38)
市内事業者の事業活動が活発になったと感じる市民の割合	(未計測)	24.1%	50%
市内製造業事業所数 (従業員 4 人以上)	347 事業所 (H26)	347 事業所 (H26)	350 事業所
市内製造品出荷額 (従業員 4 人以上)	5,322 億円 (H26)	5,322 億円 (H26)	5,800 億円
創業支援者のうちの創業者数	52 人 (H26~H27)	52 人	350 人 (H29~H38)
10 年間における企業等の誘致件数	30 件 (H19~H28)	4 件	30 件 (H29~H38)

【外部評価】

A ・ B ・ C

【重点事業の状況】

事業名、事業概要、事業費 (一般財源)、事業目標	推進工程・目標値			平成 28 年度 実績	進捗 状況	事業の成果・課題	今後の方向性
	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度				
<p>【中小企業販路拡大支援事業 (経済政策課)】</p> <p>中小企業の首都圏・海外への販路拡大に向けた取組を支援する補助制度を設けるとともに、テストマーケティングやセミナー等による情報提供等を行います。</p> <p>H28 決算(千円) 19,838(0) H29 予算(千円) 17,926(0)</p> <p>事業目標：補助金等を利用して販路拡大に結び付いた事業者数 (年間) (現状値 [H27] : 17 事業者)</p>	中小企業の販路拡大支援	中小企業の販路拡大支援	中小企業の販路拡大支援	21 事業者	A	<p>展示会等の補助内容の充実や積極的に補助内容の周知に努めたことで、補助対象の事業者数が増加した。</p> <p>しかし、7月に当初予算が尽きたことからそれ以上の補助を行うことができなかった。海外販路拡大のためのメニューを含め、9月議会で補正を行ったが、半年では事業期間が短かった。</p>	<p>目標の達成に向けて、市内事業者の販路開拓力・製品開発力が向上されるよう、引き続きメニューの充実に取り組み、新たな補助事業者の獲得を図る。</p>
<p>【とくしま地域資源活用支援事業 (経済政策課)】</p> <p>藍をはじめとする地域資源活用による、中小企業等の高付加価値商品の開発等を支援するため、商品開発に関するセミナーの開催や補助制度の実施、ブランディングの支援や産地 PR 等を行います。</p> <p>H28 決算(千円) 0(0) H29 予算(千円) 12,663(0)</p> <p>事業目標：地域資源活用高付加価値商品数 (H27~31 累計) (現状値 : 0 商品)</p>	地域資源を活用した高付加価値商品開発等の支援	地域資源を活用した高付加価値商品開発等の支援	地域資源を活用した高付加価値商品開発等の支援	(未着手)	-	(未着手)	<p>地域資源のうち、29年度については、特に藍に重点を置き、国内外のバイヤー等に対してプロモーション等を行い、徳島の藍についてブランディングを進め、販路開拓に寄与するとともに、新たに藍を活用した商品の開発に取り組む事業者に向け、製品開発セミナーを開催し、開発費の一部を補助することで、付加価値の高い新商品の開発に繋げていく。</p>
<p>【企業誘致・雇用拡大等推進事業 (経済政策課)】</p> <p>雇用の場を確保するため、立地企業に対する地元雇用奨励施策の対象を拡大するほか、オフィス活用型企業立地、本社機能移転の奨励措置を設けます。</p> <p>H28 決算(千円) 15,400(15,400) H29 予算(千円) 16,800(16,800)</p> <p>事業目標：企業等の誘致件数 (現状値 : 3 件)</p>	オフィス活用型企業立地、本社機能移転の奨励措置を新設	奨励措置実施による企業誘致	奨励措置実施による企業誘致	4 件	A	<p>雇用創出効果の大きい情報通信関連産業の誘致を行った。</p> <p>今後も、引き続きオフィス活用型企業立地、本社機能移転等を進めていく。</p>	<p>目標の達成に向けて、29年度から奨励措置を拡大した企業立地促進条例により、オフィス活用型企業立地、本社機能移転等に取り組み、新たな雇用創出、地域経済の活性化を目指す。</p>

事業名、事業概要、事業費（一般財源）、事業目標	推進工程・目標値			平成 28 年度 実績	進捗 状況	事業の成果・課題	今後の方向性
	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度				
【中小企業等人材確保・育成事業（経済政策課）】 中小企業の社員を対象とした人材育成研修を実施するとともに、中小企業者自身による人材力向上への取組を支援するための補助制度を設けます。	中小企業の 人材力向上 支援	中小企業の 人材力向上 支援	中小企業の 人材力向上 支援	76 人	A	積極的に補助内容の周知に努めたことで、補助対象の事業者数が増加した。 また、補助内容を拡充し、社員の自己啓発に関しても対象とし、国家資格の取得を支援したことで、社員のキャリアアップを支援した。	継続 目標の達成に向けて、中小企業者の人材力が向上への取組みが推進されるよう、引き続きメニューの充実に取り組むとともに、補助内容の周知に努める。
H28 決算(千円) 2,650(0) H29 予算(千円) 3,270(0) 事業目標：補助金を活用した人材育成に係る研修等の受講者 (現状値[H27]：14人)	18 人	20 人	22 人				
【創業促進事業（経済政策課）】 創業支援事業者（商工団体、金融機関等）と連携し、創業支援相談会、出張講座、セミナー等を実施するとともに、創業予定者、創業後間もない事業者等を対象に、創業に要する経費、または、事業の発展に要する経費の一部を補助します。	創業予定者 等への支援	創業予定者 等への支援	創業予定者 等への支援	52 人	A	28 年度支援者のうち 28 年度に創業した人が 32 名あり、また 26 年度から 27 年度までに支援した者が 28 年度に 20 名創業し、合計で 52 名の創業者となっている。各事業所のセミナーや市の補助金等の支援が創業予定者に普及し、実際の創業者数の増加につながっている。	継続 今後も創業支援事業者と連携して、相談会やセミナー等の創業支援を行い、創業者を促進に努める。
H28 決算(千円) 5,059(0) H29 予算(千円) 8,940(0) 事業目標：創業支援者のうちの創業者数（現状値[H27]：32人）	35 人	35 人	35 人				

施策 8-3 商業・サービス業の振興

【成果指標の状況】

指標	設定時	現状値	目標値 (H38)
日常生活における買い物に困ると感じない市民の割合	(未計測)	70.3%	80%
小売業事業所数	1,773 事業所 (H26)	1,773 事業所 (H26)	1,800 事業所
年間商品販売額	2,322 億円 (H26)	2,322 億円 (H26)	2,500 億円
中央卸売市場における取扱量	114,973 t (H27)	112,296 t	118,400 t

【外部評価】

A ・ B ・ C

【重点事業の状況】

事業名、事業概要、事業費（一般財源）、事業目標	推進工程・目標値			平成 28 年度 実績	進捗 状況	事業の成果・課題	今後の方向性	
	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度					
【中心商店街等活性化支援事業（経済政策課）】 本市中心市街地内の地域商業団体が空き店舗改装支援、イベント事業等を実施するにあたり、商工会議所を通じて当該経費の一部を助成します。 また、中心市街地内の活性化のため、NPO 等と協働した取組を行います。	空き店舗改装、イベントの開催等の支援	空き店舗改装、イベントの開催等の支援	空き店舗改装、イベントの開催等の支援	/	B	中心市街地内の地域商業団体の空き店舗改装支援、イベント事業等に対する支援を行った。 しかし、中心市街地での再開発事業の中止等により、人の通行量がさらなる減少等が推測されることから、中心市街地の商業立地の魅力が低減し、出店希望者が減少したものと推察される。	商業の振興に関し、個店の魅力づくりや経営改善などについても事業を充実し、商店街の振興と転出・廃業の防止に努めるとともに、音楽芸術ホール整備等の中心市街地における事業の実施状況に合わせ、魅力的な環境づくりや賑わい創出を地域商業団体等と連携し取組を進める。	
H28 決算(千円) 4,220(2,110) H29 予算(千円) 6,500(1,500)	2 件	2 件	2 件					1 件
事業目標：空き店舗改装支援件数（現状値[H27]：2 件）	2 件	2 件	2 件					1 件
【地域商店街活性化支援事業（経済政策課）】 地域商業団体が行うイベント事業等を実施するにあたり、当該経費の一部を助成します。	イベントの開催等の支援	イベントの開催等の支援	イベントの開催等の支援	/	B	加盟店舗数の減少や加盟店舗の売上減少など、地域商業団体の財政力の低下に伴い、イベント事業等の実施が減少していることが推察される。 ※なお、実績以外に 1 件申請があったものの、天候不良でイベントが実施できなかったため、申請を取り下げた。	地域商業団体への周知を進め、賑わい創出に取り組む地域商業団体の増加に努めたい。	
H28 決算(千円) 500(500) H29 予算(千円) 1,594(1,594)	4 件	5 件	6 件					1 件
事業目標：商業団体に取り組む事業数（現状値[H27]：3 件）	4 件	5 件	6 件					1 件
【市場活性化事業（中央卸売市場）】 親子市場見学会や「市場ランチ」の実施など、市場PRの充実による生鮮食料品の消費拡大に努めます。	市場活性化事業の推進	市場活性化事業の推進	市場活性化事業の推進	/	B	(成果)市場の大切な役割や生鮮食料品の美味しさをPRすることができ、長期的な視点での食育の推進及び消費の拡大に取り組むことができた。 (課題)生鮮食料品や食に関する消費者意識の高揚による消費の拡大に繋げるため、市場関係者と連携し市場活性化及びPRに継続的に取り組む必要がある。	同事業を達成するために実施している親子市場見学会は、毎回、応募多数のため、抽選で参加者を決定している状況である。そのため、1 組でも多くの親子に参加していただきけるよう、従来、年 2 回（7、8 月に各 1 回開催）の開催であったものを、年 3 回（7 月に 1 回、8 月に 2 回）に増加し、市場ランチの実施とあわせて年 4 回の事業目標とする。	
H28 決算(千円) 1,000(1,000) H29 予算(千円) 1,500(1,500)	4 回	4 回	4 回					3 回
事業目標：市場活性化事業の実施回数（現状値：3 回）	4 回	4 回	4 回					3 回

事業名、事業概要、事業費（一般財源）、事業目標	推進工程・目標値			平成 28 年度 実績	進捗 状況	事業の成果・課題	今後の方向性
	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度				
【市場施設整備事業（中央卸売市場）】 市場整備検討協議会を開催し、市場施設の耐震化並びに市場機能の向上等、今後の施設整備の方向性を決定します。	検討協議会 の開催			/	B	(成果)卸売市場整備検討協議会（委員構成：市場協会理事会、学識経験者、開設者）を設置し、「当市場施設の現状と課題」及び「全業者を対象に実施したアンケート調査結果」について共通認識を図った。 (課題)施設整備の方向性についての意見集約。	他市場の整備状況を検証するとともに、各整備方法（耐震補強工事、施設更新）におけるメリット・デメリット等について協議・検討し、施設整備の方向性を決定する。
H28 決算(千円) 0(0) H29 予算(千円) 0(0)							
事業目標：施設整備に係る方向性の決定	方向性決定			協議会開催			
【食肉センター整備事業（農林水産課）】 施設・設備の老朽化及び国際的衛生管理手法であるHACCP（ハサップ）の導入や世界人口の 20%以上を占めるイスラム教徒に食肉を提供するためのハラール等に対応するため、新しい食肉センターの整備を推進します。	県及び指定 管理者等業 界関係者と の協議	基本方針の 策定		/	C	徳島市立食肉センター活性化検討協議会及び下部組織である「ワーキングチーム」において、県域での食肉処理施設の再編も踏まえて、施設整備の基本方針について協議を行った。 今後は、指定管理者等業界関係者とも、十分な協議を進める必要がある。	県・市及び専門的知識を有したアドバイザーで構成する新たな協議会「徳島市立食肉センター施設整備等検討協議会」を設置し、県域での食肉処理施設の再編も踏まえ、今後の施設整備の基本方針を協議する。また、引き続き「ワーキングチーム」における協議も継続して行うとともに、指定管理者等業界関係者とも、協議を進める。
H28 決算(千円) 5,059(0) H29 予算(千円) 8,940(0)							
事業目標：新食肉センター施設整備基本方針の策定	検討	検討・策定		検討			

施策 8-4 働く環境づくりの推進

【成果指標の状況】

指標	設定時	現状値	目標値 (H38)
働く場が充実していると感じる市民の割合	26% (H27)	34.1%	50%
10年間における企業等の誘致件数	30件 (H19~H28)	4件	30件 (H29~H38)
雇用拡大人数 (雇用奨励金適用人数)	165人 (H19~H28)	26人	200人 (H29~H38)

【外部評価】

A ・ B ・ C

【重点事業の状況】

事業名、事業概要、事業費 (一般財源)、事業目標	推進工程・目標値			平成28年度 実績	進捗 状況	事業の成果・課題	今後の方向性
	平成29年度	平成30年度	平成31年度				
【企業誘致・雇用拡大等推進事業 (経済政策課)】 雇用の場を確保するため、立地企業に対する地元雇用奨励施策の対象を拡大するほか、オフィス活用型企業立地、本社機能移転の奨励措置を設けます。	オフィス活用型企業立地、本社機能移転の奨励措置を新設	奨励措置実施による企業誘致	奨励措置実施による企業誘致	/	A	雇用創出効果の大きい情報通信関連産業の誘致を行った。 今後も、引き続きオフィス活用型企業立地、本社機能移転等を進めていく。	継続 目標の達成に向けて、29年度から奨励措置を拡大した企業立地促進条例により、オフィス活用型企業立地、本社機能移転等に取り組み、新たな雇用創出、地域経済の活性化を目指す。
H28 決算(千円) 15,400(15,400) H29 予算(千円) 16,800(16,800)							
事業目標：企業等の誘致件数 (現状値：3件)	3件	3件	3件				
【ファミリーサポートセンター事業 (経済政策課)】 仕事と育児の両立のための環境整備として、育児の援助を受けたい者と育児の援助を行いたい者からなる会員組織を設立し、相互援助活動を支援しています。	病児・病後児預かりサポート開始	事業実施	事業実施	/	A	出張登録会等により、会員数の増加を図った。 相互援助活動のため、育児の援助を行いたい方の確保が難しいため、積極的に事業の周知を行う必要がある。	継続 目標の達成に向けて、引き続き事業に取り組むとともに、ニーズが高い病児・病後児預かりサポート事業を実施し、新たな会員の獲得を図る。
H28 決算(千円) 18,400(18,400) H29 予算(千円) 21,100(21,100)							
事業目標：ファミリーサポートセンター会員数 (現状値[H27]：3,033人)	3,200人	3,400人	3,600人				
【ワークライフバランス推進事業 (経済政策課)】 労働力不足が顕在化している中で、労働者の生産性向上が求められ、女性、若者、高齢者、障害者等のワークライフバランスの向上 (仕事と生活の調和) を図ることを支援し、優秀な人材の確保、生産性の向上につなげます。	職場環境改善に取り組む企業の支援	職場環境改善に取り組む企業の支援	職場環境改善に取り組む企業の支援	/	-	(未着手)	継続 平成29年6月から事業実施。 目標の達成に向けて、事業の周知を行い、企業の職場環境改善・働き方改革を進め、労働者の生産性向上、特に女性、若者、高齢者、障害者等のワークライフバランスの向上 (仕事と生活の調和) を図る。
H28 決算(千円) - H29 予算(千円) 2,150(150)							
事業目標：取組企業数 (現状値：事業未実施)	10社	10社	10社				

事業名、事業概要、事業費（一般財源）、事業目標	推進工程・目標値			平成 28 年度 実績	進捗 状況	事業の成果・課題	今後の方向性	
	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度					
【女性の再就職支援事業（経済政策課）】 結婚、出産、育児等により離職した女性の再就職を支援するため、セミナーの開催、就業支援カウンセリング、職業紹介、企業とのマッチング等を実施します。 また、徳島公共職業安定所と連携し、子育て中の女性等を対象とした就職面接会を開催し、就労へとつなげます。	セミナー実施	セミナー実施	セミナー実施	/	B	セミナー参加者は5人であったが、1人は体調不良のため、就職まで至らなかった。	継続	今後は、再就職を希望する女性が参加し易いセミナーを開催し、参加者にとって就職に結びつく実効力のある事業としていく。
H28 決算(千円) 2,160(2,160) H29 予算(千円) 2,160(2,160)								
事業目標：セミナー等参加者の就職者数（現状値：2人）	5人	5人	5人					
【若年非正規労働者正規化促進事業（経済政策課）】 国のキャリアアップ助成金を活用した事業主に対し奨励金を上乗せ支給し、雇用の安定、中小企業の人材確保を支援します。また、徳島公共職業安定所と連携した就職面接会により、正規化促進に取り組みます。	奨励金支給等による非正規労働者の正規化促進	奨励金支給等による非正規労働者の正規化促進	奨励金支給等による非正規労働者の正規化促進	/	C	平成 28 年 10 月からの補正事業であったため、制度実施時期が年度の後半となり、事業の活用者数が少なかった。	継続	29 年度は、事業の周知を積極的に行ったため、既に予算額の 9 割程度の執行（5 月末）となっている。引き続き事業の実施に取り組む。
H28 決算(千円) 180(0) H29 予算(千円) 2,000(2,000)								
事業目標：正規雇用化者数（本市事業の活用者）（現状値：0人）	20人	20人	20人					

施策 9-1 文化・芸術活動の振興

【成果指標の状況】

指標	設定時 (H28)	現状値	目標値 (H38)
文化・スポーツに親しめる環境が整っていると感じる市民の割合	31% (H27)	38.9%	50%
文化施設（シビックセンター、ガラススタジオ）の利用者数	20.9 万（見込み）	22.9 万人	22.5 万人
学校等と連携した文化・芸術プログラム実施回数	9 回	11 回	24 回

【外部評価】

A ・ B ・ C

【重点事業の状況】

事業名、事業概要、事業費（一般財源）、事業目標	推進工程・目標値			平成 28 年度 実績	進捗 状況	事業の成果・課題	今後の方向性
	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度				
【新ホール整備事業（文化振興課）】 市民の芸術文化の創造拠点となる新たなホールの整備を推進します。	建設候補地の選定等	基本計画の策定等	計画に基づく整備の推進	/	B	有識者会議の提言等を踏まえ、新ホールの早期開館に向けた整備の推進方策を取りまとめるとともに、建設候補地の検討を行った。	継続 平成 29 年 5 月に、新ホールの建設候補地は「徳島駅西側駐車場」に選定した。今後は、土地所有者をはじめ関係者との協議を早急に開始し、法規制等への課題対応、整備手法、事業費等についての検討を行い、平成 30 年 3 月を目途に基本構想案等をまとめていく。
H28 決算(千円) 0(0) H29 予算(千円) 8,659(8,659) 事業目標：新たなホールの整備推進	整備推進	整備推進	整備推進				
【文化活動サポート事業（文化振興課）】 徳島らしい文化・芸術活動の振興を図るため、文化施設の利便性の向上や利用促進に向けた取組を行うとともに、市民の文化活動への専門的なアドバイスなど、市民の文化・芸術活動に関しての必要な支援を行います。	文化・芸術活動に関する相談窓口の設置及び活動支援	相談窓口の運営及び活動支援の推進	相談窓口の運営及び活動支援の推進	/	-	(未着手)	継続 新ホールについては、35 年度開館を目指して整備を推進しているが、それまでの間、本市には 1,000 席規模のホールがない状況が続くため、文化芸術活動を行う市民や団体等の活動機会が失われている状況への対応として、市内近郊にあるホールの利便性向上や、市民の芸術文化活動への支援等を行う。
H28 決算(千円) - H29 予算(千円) 5,648(5,648) 事業目標：文化施設（シビックセンター、ガラススタジオ）の利用者数 （現状値：20.9 万人（見込み））	21.1 万人	21.2 万人	21.4 万人				
【市民参加交流事業（文化振興課）】 市民と一体となって本市の文化振興を行うため、文化や芸術に関する様々な分野での参加機会を提供し、ワークショップの開催や活動ボランティアの養成など、文化活動への関心や理解を深めます。	市民参加交流事業の実施	市民参加交流事業の実施	市民参加交流事業の実施	/	B	市民参加グループ（歌唱・ダンス・演劇）のワークショップ及び活動ボランティアの養成セミナーを計 50 回開催し、延 678 名の参加者があったが、登録者数は 119 人で 28 年度目標値を下回った。	継続 引き続き、市民参加グループのワークショップや活動ボランティア養成セミナーを実施する。事業内容を工夫し、活動内容を広く発信することで、文化活動への参加者の育成を行い、本市らしい芸術文化の創造に取り組む。
H28 決算(千円) 5,610(5,610) H29 予算(千円) 5,500(5,500) 事業目標：市民参加ワークショップ・ボランティア登録者数 （現状値：130 人（見込み））	135 人	140 人	145 人				

事業名、事業概要、事業費（一般財源）、事業目標	推進工程・目標値			平成 28 年度 実績	進捗 状況	事業の成果・課題	今後の方向性
	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度				
【文化芸術との出会い創造事業（文化振興課）】 地域のアーティスト（演奏家等）を、学校等に派遣（アウトリーチ活動）することで活動の場を提供し、児童生徒や市民に対して、双方向のコミュニケーションを通じて、文化芸術活動を分かりやすく理解される形で伝え、市民と文化芸術をつなぎ、身近なものとして感じてもらう活動を支援します。	地域アーティストの募集及び人材の育成等	人材の育成及びアウトリーチ活動の実施	人材の育成及びアウトリーチ活動の実施	/	-	(未着手)	継続 新ホールの開館までに、芸術文化を楽しむ人の層を形成し、その裾野を広げていくため、地域のアーティストを活用したアウトリーチ活動を通じ、アーティストの人材育成を行うとともに、学校等へのアウトリーチでは、アーティストと鑑賞者との交流を促進することで、次世代を担う子供たちの積極性や創造性の向上を図り、本市の文化振興につなげる。
H28 決算(千円) - H29 予算(千円) 2,797(2,797)	2回	8回	16回				
【芸術文化創造事業（文化振興課）】 徳島市芸術文化創造アドバイザーの協力を得ながら、学校での音楽教室の実施、文化活動団体との交流事業や次世代育成音楽イベントを開催し、市民と一体となった芸術文化の創造を推進します。	各事業の実施	各事業の実施	各事業の実施	/	B	徳島市芸術文化創造アドバイザーによる音楽教室を3回実施した。次世代育成イベントとして10月30日に開催したオーケストラ合同演奏会では、参加・来場者数325人を集めた。	継続 引き続き、徳島市芸術文化創造アドバイザーの協力をいただきながら、音楽教室や文化団体との交流事業を実施する。次世代育成のための音楽イベントは、市民の関心も高く盛況であることから、事業内容のさらなる情報発信に努め、内容を充実していく。
H28 決算(千円) 1,889(1,889) H29 予算(千円) 4,131(4,131)	350人	375人	400人				
事業目標：アウトリーチ活動の実施回数（現状値：0回）							
事業目標：次世代育成音楽イベントの参加・来場者数（現状値：325人）							

施策 9-2 スポーツ・レクリエーション活動の振興

【成果指標の状況】

指標	設定時 (H28)	現状値	目標値 (H38)
文化・スポーツに親しめる環境が整っていると感じる市民の割合	31% (H27)	38.9%	50%
市主催のスポーツイベントへの参加者数	16,000 人 (見込み)	29,675 人	18,000 人
スポーツ・レクリエーション施設の利用者数	155 万人 (見込み)	145 万人	170 万人

【外部評価】

A ・ B ・ C

【重点事業の状況】

事業名、事業概要、事業費（一般財源）、事業目標	推進工程・目標値			平成 28 年度 実績	進捗 状況	事業の成果・課題	今後の方向性
	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度				
【市民スポ・レクフェスティバルの開催（スポーツ振興課）】 広く市民にスポーツ・レクリエーションを普及振興するため、バレーボールなどの競技スポーツ、グラウンドゴルフなどの生涯スポーツの大会を開催しています。	第 12 回大会 の開催	第 13 回大会 の開催	第 14 回大会 の開催	/	B	新しい種目としてウォーキングを行った。他の種目も参加者が増え、28 年度目標を達成できた。	継続 目標の達成に向けて、引き続き、周知を徹底するとともに、新しい種目を取り入れる等、参加者が増えるよう取り組んでいく。
H28 決算(千円) 1,811(1,811) H29 予算(千円) 1,713(1,713) 事業目標：市民スポ・レクフェスティバル参加者数（現状値：3,427 人）	3,500 人	3,550 人	3,600 人				
【スポーツふれあい普及推進事業（スポーツ振興課）】 スポーツ推進委員等が要望のある地域を訪問し、ペタンクやカローリングなどのニュースポーツの普及推進に努めています。	普及活動の 推進	普及活動の 推進	普及活動の 推進	/	B	前年度に引き続き、同一地域からの要望が多く、また、新しい地域からの要望もあり、28 年度目標をおおむね達成できた。	継続 継続して要望があるように、ニュースポーツの楽しさを伝えていく。 なお、要望のある種目に偏りがあるため、その他の種目でも要望されるよう、啓発及び情報発信に努めていく。
H28 決算(千円) 312(312) H29 予算(千円) 410(410) 事業目標：スポーツふれあい普及推進事業参加者数（現状値 [H27]：1,455 人）	1,600 人	1,700 人	1,800 人				
【徳島市立体育館整備事業（スポーツ振興課）】 市立体育館は、老朽化し、また、床面積や観客席等の不足により、各種競技の全国大会やプロスポーツの開催が困難なため、新しい体育館の整備を推進します。	調査・研究	調査・研究	整備計画の 策定	/	C	平成 29 年 2 月 13 日開催の「徳島市スポーツ推進審議会」において、「徳島市立体育館整備の考え方」について、委員から意見をいただいた。	継続 31 年度上半期での整備計画策定を目指し、29・30 年度は調査・研究を行う。29 年度においては、市立体育館の整備の考え方に沿う他都市の施設情報を収集し、視察候補地を決定する。
H28 決算(千円) 0(0) H29 予算(千円) 0(0) 事業目標：新体育館整備計画の策定	検討	検討	策定完了				
【スポーツ施設整備事業（スポーツ振興課）】 経年による老朽化が進んだ本市のスポーツ施設について、現在地で、長寿命化と利便性・機能性の向上に努めます。陸上競技場は、平成 31 年度までに改修し、第 2 種公認を維持します。	陸上競技場 改修設計	陸上競技場 改修工事	陸上競技場 改修工事	/	B	平成 28 年 12 月から、メインスタンド設備設計業務及びフィールド・トラック改修工事設計業務に着手した。両業務とも 28 年度内の完了が困難となり、設計予算を 29 年度に繰越した。	継続 メインスタンド改修工事、駐車場拡張工事及びフィールド・トラック改修工事を、平成 30 年 3 月から平成 31 年 11 月までの期間に実施する予定である。
H28 決算(千円) 2,168(68) H29 予算(千円) 46,076(3,676) 事業目標：陸上競技場の改修	設計実施	工事实施	工事完了				

施策 9-3 生涯学習の推進

【成果指標の状況】

指標	設定時	現状値	目標値 (H38)
公民館や博物館の講座が充実し、学びやすいと思う市民の割合	(未計測)	37.8%	50%
主な生涯学習活動への参加者数	5.2万人 (H27)	5.3万人	6万人
図書利用(貸出)人数	27万人 (H27)	27万人	30万人

【外部評価】

A ・ B ・ C

【重点事業の状況】

事業名、事業概要、事業費(一般財源)、事業目標	推進工程・目標値			平成28年度実績	進捗状況	事業の成果・課題	今後の方向性
	平成29年度	平成30年度	平成31年度				
【地域学遊塾事業(社会教育課)】 身近な地区公民館や小学校・幼稚園等で、地域在住の人材等を講師として活用し学習の機会を提供するとともに、学習推進者となる人的資源の充実を目指します。具体的には、市内小学校・幼稚園に在籍する子供とその保護者に、子供の生きる力を育むための様々な特色ある体験の機会を提供する講座を開設します。	市民のニーズの把握(過去の実績分析)	市民のニーズに応じた講座内容検討	検討内容に沿った講座の実施	/	B	前年度比で345人の減であったが、地域に密着した生涯学習事業として根付いており、学校、地区公民館等の身近な施設において順調に開催を継続している。	継続 講座を企画運営する組織に、現に実施している講座における参加者の嗜好等にも留意してもらい、より関心の高い、市民のニーズに応じた講座開設ができるよう努めていきたい。
H28 決算(千円) 1,209 (1,209) H29 予算(千円) 1,374 (1,374)							
事業目標：地域学遊塾参加者数(現状値[H27]: 8,500人)	8,600人	8,700人	8,800人				
【市民講座等の中央公民館開催講座の充実(中央公民館)】 市民のニーズに沿った、文化・芸術・健康づくり等の多彩な内容の講座を開設するとともに、受講しやすいよう、講座の開催数も工夫して実施します。	市民のニーズの把握 講座の新陳代謝を図り、PR活動を推進	講座の新陳代謝を図り、PR活動を推進	講座の新陳代謝を図り、PR活動を推進	/	B	短期講座であるチャレンジ講座を2回実施し、そのうち、好評であったものを29年度の定期講座に企画するなど、ニーズに応じた講座づくりに取り組んだ。 講座のジャンル別に写真入りのカラーパンフレットを初めて作成し、分かりやすいと好評を博した。	継続 28年度に実施したインターネットアンケートや受講者へのアンケートなどにより、ニーズの把握に努めつつ、受講しやすい講座の実施に取り組んでいく。
H28 決算(千円) 16,576 (2,025) H29 予算(千円) 17,780 (0)							
事業目標：講座の受講者数(現状値[H27]: 2,354人)	2,400人	2,450人	2,500人				
【徳島城博物館における教育普及活動の推進(徳島城博物館)】 一部内容を見直しながら、時宜にかなった展覧会、博物館講座、各種イベント等を実施します。	市民ニーズの把握、一部事業の見直し・PR	一部事業の見直し・PR	一部事業の見直し・PR	/	A	資料の収集状況や企画展等のテーマに沿ったイベントを企画、開催した。 季節の伝統行事や歴史にまつわるイベントを随時開催し、人気の高い連続講座を開催することで、入館者数が順調に増加した。	継続 開館25周年記念イベント開催や城下町徳島魅力発見事業に取り組み、蜂須賀家の城下町の文化遺産としての活用を図る。昨年度の成果物である城下町徳島マップ、WEBサイト、iフォンアプリ等を広くPRしていく。
H28 決算(千円) 4,002 (1,981) H29 予算(千円) 4,328 (1,995)							
事業目標：徳島城博物館入館者数(現状値[H27]: 42,371人)	4.3万人	4.35万人	4.4万人				

事業名、事業概要、事業費（一般財源）、事業目標	推進工程・目標値			平成 28 年度 実績	進捗 状況	事業の成果・課題	今後の方向性
	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度				
【図書館事業の充実（社会教育課）】 商業施設や公共施設に囲まれた立地を生かし、ニーズに沿ったイベントの開催や蔵書の充実、広報活動に力を入れ、図書館の利用者増を図ります。	イベントの充実 PR活動充実	イベントの充実 PR活動充実	次期指定管理者選定	/	B	幅広いテーマのイベントを開催し、図書館に足を運ばない層にも興味を持ってもらうよう工夫した。	誰もが親しみやすい生涯学習施設として、イベント内容を充実させ、新たな利用者の開拓に取り組む。
H28 決算(千円) 269,641 (269,641) H29 予算(千円) 269,641 (269,641)							
事業目標：図書利用（貸出）人数（現状値[H27]）：27 万人	27.8 万人	28.2 万人	28.6 万人	27.1 万人			継続

施策 9-4 地域自治・協働の推進

【成果指標の状況】

指標	設定時 (H28)	現状値	目標値 (H38)
町内会などの地域活動や、ボランティアなどの市民活動が盛んであると感じる市民の割合	31% (H27)	44.3%	50%
NPOとの協働事業数	84 事業 (H27)	87 事業	120 事業
新たな地域自治協働システム構築地域数	0 地域	0 地域	10 地域

【外部評価】

A ・ B ・ C

【重点事業の状況】

事業名、事業概要、事業費（一般財源）、事業目標	推進工程・目標値			平成 28 年度 実績	進捗 状況	事業の成果・課題	今後の方向性	
	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度					
<p>【とくしま協働制度事業（市民協働課）】</p> <p>NPO・企業・地域団体など多様な主体と行政との協働を推進するための仕組みとして、協働事業に対する一部補助やマッチングのための交流会を行い、新たな協働事業を創出します。</p>	見直し後のとくしま協働制度の周知	マッチングの場となる交流会を実施	マッチングの場となる交流会を実施	/	B	<p>28年度は、庁内で実施中の協働事業（4件）のサポートを行うとともに、NPO団体等と関係課とのマッチングのための交流会を実施した。</p> <p>協働をさらに活性化するためには、交流の広がりから、課題解決に向けた協働事業の実施につながるための仕組みづくりや、職員の意識改革が必要である。</p>	<p>見直し</p> <p>目標の達成に向けて、実施中の協働事業を引き続きサポートするとともに、現在実施している協働事業が29年度で終了することから、より活用しやすい制度への見直し（補助対象、補助率、予算化の仕組み等）を行ったうえで、新たな制度の周知、30年度以降の協働事業の募集・選定を行い、協働事業の拡充を図る。</p> <p>また、中間支援組織によるサポート強化や交流会の実施、協働に対する職員の意識改革に取り組む。</p>	
<p>H28 決算(千円) 247(247) H29 予算(千円) 530(530)</p> <p>事業目標：協働事業の実施件数（現状値：4件）</p>	4件	4件	7件					4件
<p>【地域づくり活動団体等支援・育成事業（市民協働課）】</p> <p>市民活力開発センターにおけるNPO団体等からの相談業務を通じて同団体が活動を継続できるよう支援を行います。また、同センターとNPO団体等との協働事業を通じて同団体の活動の拡大を図ります。</p>	市民活力開発センターにおける相談窓口機能の周知	市民活力開発センターにおける相談窓口機能の周知	市民活力開発センターにおける相談窓口機能の周知					/
<p>H28 決算(千円) 12,750(12,750) H29 予算(千円) 12,750(12,750)</p> <p>事業目標：市民活力開発センターにおける市民活動等の相談・対応件数（現状値[H27]：45件）</p>	80件	90件	100件	100件				

事業名、事業概要、事業費（一般財源）、事業目標	推進工程・目標値			平成 28 年度 実績	進捗 状況	事業の成果・課題	今後の方向性
	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度				
【新たな地域自治協働システム構築事業（市民協働課）】 地域団体やNPO団体、企業等を含む地域の多様な主体が連携・協働しながら、地域社会の運営に参加し、地域課題を地域自らが解決していこうとする仕組みを構築することにより、地域自治を推進します。	・モデル地区での検証 ・制度（条例）案の作成	・モデル地区での検証 ・制度（条例）案の作成	・条例施行 ・組織を認定 ・市全域に普及啓発	/	A	29 年度からのモデル事業実施に向けて、小規模多機能自治推進ネットワーク会議四国ブロック会議を本市で開催し、先進事例の研究や各自治体との情報交換を行った。また、青年層や地元企業と地域を結びつけるイベント支援や情報提供など気運の醸成を図るとともに、大学との連携体制を構築するなど、今後の取組に向けた準備作業を着実に推進することができた。	31 年度からの制度スタートに向けて、本市の実情に応じたシステムを構築するため、モデル地区を募集・選定し、29、30 年度の 2 年間で、地域の体制づくり、地域まちづくり計画の策定、試験事業の実施に取り組む。 また、モデル地区での検証状況や、各団体に対するヒアリング結果、庁内の検討会等の意見等を踏まえ、地域における組織のあり方や、行政の支援内容など制度（条例）案の検討を行う。
H28 決算(千円) 131 (131) H29 予算(千円) 4,492 (4,492)	0 地域	0 地域	3 地域				
事業目標：新たな地域自治協働システム構築地域数（現状値：0 地域）	0 地域	0 地域	3 地域	0 地域			